

事業名 隅田川こいのぼりフェスティバル

事業概要

- 隅田川テラス（柳橋地区）を会場に「隅田川こいのぼりフェスティバル」を開催。ゴールデンウィーク中の2日間、多彩なイベントを展開し、子育て世帯が多数参加した。
- 町会内のビジネスカレッジに通う海外からの留学生がボランティアとしてイベント運営に参加。日本文化に触れるとともに町会員やフェスティバル参加者たちと交流し、多文化共生につなげた。

実施期間 令和5年4月1日～5月26日

参加人数 来場者 4月29日約700名、5月5日約300名
その他期間の見学者 約200名

事業総額 約56万7,500円
(地域の底力発展事業助成金 49万7,000円)

役割分担

- 《企画・広報（3名）》町会役員1名と町会員2名がチラシ制作等を担当
- 《記録（3名）》町会役員3名が撮影等行事の記録を担当
- 《設営・運営（約40名）》町会役員と外国人留学生ボランティア20名がテント設営、イベント等を担当

主な経費（助成対象）

- 謝礼金 バルーンアート
- 打合せ経費 ペットボトルお茶
- 物品購入費 子供おもちゃ・菓子（景品）、PCインク・文房具備品、折り畳み簡易テント、テント用水錘
- 印刷経費 チラシ印刷費
- 役務費 団体賠償保険2種、警察道路使用許可証
- レンタル・リース料 着ぐるみ
- 工事費 こいのぼり展示足場

事業の開始から終了までの主な流れ

- 令和5年
- 4月3日 第1回打合せ（同14日に第2回、24日に第3回実施）
 - 4月4日 町会ホームページに「こいのぼりフェスティバル開催のお知らせ」をアップ
 - 4月7日 浅草橋南部13町会の会議で掲示板へのポスター貼り出しを依頼、近隣の小学校・幼稚園・保育園にチラシを配布、町会内のビジネスカレッジに外国人留学生ボランティアの参加を要請
 - 4月15日 幟旗36本を町内に設置
 - 4月24日 こいのぼりの櫓を業者が設置
 - 4月29日～5月5日 こいのぼり展示
 - 4月29日、5月5日 「隅田川こいのぼりフェスティバル」事業実施
 - 5月26日 反省会



「隅田川こいのぼりフェスティバル」のチラシ

「隅田川こいのぼりフェスティバル」を開催

多くの家族連れで賑わい、町会活動への理解が広がる

4月29日(土)、5月5日(金)の両日、隅田川テラスにて開催されたフェスティバルでは、スタンプラリー、こいの腹ぐり、バルーンアートなどの子供たちが楽しめる多彩なイベントを実施した。

初日の開会式では、こいのぼりの掲揚に合わせて地元小学校の金管バンドが演奏を披露。各イベントに行ける賑わいとなった。

来場者数は、イベントを実施した両日合計で約1,000名。当初予想より3割多く、家族連れが多数訪れ大盛況となった。

また、学校創設以来、10年以上交流を深めてきた町内会のビジネスカレッジに今年も協力を要請。海外からの留学生20名が参加し、会場の設営を手伝ったほか、金太郎や熊の着ぐるみに入って子供たちと記念撮影の相手をするなど、2、3人ずつに分かれてイベン

トを盛り上げた。さらに、スタッフと協力し、参加した子供たちの安全を見守るなど、町会の人たちとも交流を深めた。



予想を超す来場者で大盛況となった会場(隅田川テラス)

事業による 成果・効果

子育て世代に町会活動をアピール、国際交流にも一役

かつては高級料亭が軒を連ねた柳橋。今はそうした街並みが姿を消し、オフィスビルやマンションが集積。職場に近いことなどを理由に子育て世帯が増えている。副会長の大沼さんは「子供と一緒に若い親御さんが多数参加され、町会活動に理解を深めていただきました」と語る。

また、町会内のビジネスカレッジから留学生20名がボランティアとして参加。準備が始まる朝9時には姿を見せ、高齢者の多い町会には力強い助っ人となった。「東南アジアからの学生が多いのですが、皆さん日本文化に興味があり、楽しみながら参加してくれました。私たちも、それぞれの国の文化を教えてもらいました」と大沼さん。国際交流、多文化共生にも一役買っている。

事業を振り返って

長い目で見た担い手の育成が必要

「町会役員の高齢化が進み、会場設営などには苦労しました」と副会長の大沼さん。町会の担い手については、「勧誘して入っていただいた30代の町会役員がいて、今回、手伝いをしてくれる同世代の友人を誘って来てくれました。そして、これからも仲間を誘いたいと言っています」と手応えを感じている。「今後、子育て世帯により広く働きかけて、若手ボランティアを募集したい。若い世代は共働きが多いので、まず参加できる時だけ来てもらい、それぞれ得意なことで手伝ってほしい。すぐに結果を求めるのではなく、長い目でみて手を打っていきたい」と語る。

「柳橋では子育て世帯が増え、年末の夜回りでも拍子木を叩いて子供たちが喜んで参加します」と笑顔を見せる。様々な行事を通して「粋な町、柳橋」の風情を伝えながら町会の活性化を図っていききたいという。



「子供の参加が増えています」と副会長の大沼さん